

令和8年度第2学期始業式 校長式辞(HP 用)

※スライドのページ数

- 1 令和8年度第2学期の始業式に、みんなに考えてもらいたいことを話します。
- 2 まずは、日本の子どもたちの現状を OECD 加盟国の世界の子どもたちとの比較で紹介します。当然、日本のこどもたち というのは、いま私の話を聞いている取手二中のみなさんもその一員ですよ。スライドをよく見て、考えてくださいね。
この後、「PISA」という、OECD 生徒の学習到達度調査について見てもらいます。
- 3 この PISA ですが、簡単に説明すると
 - ・世界の15歳が対象、日本では中学3年生が対象
 - ・世界規模の学習調査で、3年に一度実施
 - ・暗記ではない活用力、実生活で使える力を調査します。
 - ・数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシーという3つの分野で調査します。その結果が次に示すスライドです。
- 4 これは、2025年に行われた PISA の結果です。
日本は、数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー、すべての項目でトップです。
中学3年生の学力は、世界的に見て、トップと言えます
ただ、世界のトップだが・・・ということなんです。
次のスライドをみてください。
- 5 これは2019年とちょっと古いデータなんですが、世界の18歳の「国や社会に対する意識」に関する調査結果です。
自分を大人だと思う 自分は責任がある社会の一員だと思う 将来の夢をもっている
自分で国や社会を変えられると思う 自分の国に解決したい社会課題がある
社会課題について家族や友人など周りの人と積極的に議論している
という調査項目です。
日本の結果を見てみましょう。これらすべての項目について、日本は主要国の中で最下位です。それも圧倒的に低い数字です。これは子どもだけが悪いわけではないのですが、この結果からは、日本の子どもたちが、国や社会への関心が圧倒的に低いことが分かります。次のスライドにいけます。
- 6 これは、2024年の世界の18歳の国や社会に対する意識調査の結果です。
国や社会に役立つことをしたいと思う 自分は責任がある社会の一員だと思う
ボランティア活動に参加したい 慈善活動のための寄付をしたい

自分は大人だと思う 自分の行動で、国や社会を変えられると思う

日本の結果を見てみましょう。2019年よりは差は縮まりましたが、やはり主要国の最下位であることには変わりありません。

この結果から見えてくるのが、「世界の出来事、世の中の出来事を、自分事として考えることが不足している」ということです。

7 また、このスライドは2023年、世界の13歳から19歳の「自分自身に満足している」という調査結果です。日本はやはり最下位で、自分に自信がない。

いわゆる自己肯定感が低いということが分かります。

8 これは、ユニセフで実施した子どもの幸福度ランキングです。

残念ながら、総合順位として、日本は37か国中、17位です。

特に、精神的幸福度が32位で、心の幸福度が非常に低いことが分かります。

9 これらのことをまとめると、日本の子どもたちの現状として、学力は世界的にトップだが...

世界の国々の子どもたちと比べると

自分事として考えることが不足している

国や社会への関心が低い

自己肯定感が低い

心の幸福度が低い

ということが言えます。

10 このことをみんなはどう考えますか？

少し近くの人と話してみてください。

11 いまが楽しければ、それでいいですか？

12 自分が幸せであればそれでいいですか？

また、スライドに注目しましょう

13 取手二中の先生たちの願いを伝えます。

先生たちは、学校でのいい生徒、いい子ちゃんを育てたいわけではないんです。

先生たちの言うことを何でも「はい。はい。」と聞く、生徒を育てたいわけじゃないんです。

取手二中の先生たちは、当然、いまを幸せに楽しく生きてほしいと思っていますが、

もっと大切なこと。10年後、20年後、30年後に、みんな一人一人が、自立した一人の人間として、幸せな人生を歩んでほしいと思っているんです。

自分の行動で、国や社会を変えられると思う という意識が、日本の子どもたちは、世界の子どもたちと比べて、とても低いんです。

14 先日の体育祭、本当にすばらしい体育祭でした。みんなが主役の、生徒が主体で考え、実行した体育祭です。ここにいるみんなが歴史を変えた体育祭です。

そのときにも、私がみんなに伝えた言葉です。

15 世界や国、社会はみんなの力で変えられる

私は、そう信じています

そのために

16 まずは、自分の周りの世界から、もっとよくなるように、変えていこう

17 そして、やっぱり必要なのは、「みんなの笑顔のために」です。

みんな、いま、まわりの人に笑顔をふりまきましょう。先生たちもですよ。

少し、幸せな気持ちが上がったかな？

いつも楽しく、幸せな日々だけではないです。

ときには、つらく苦しい日々もあります。

でも、そんなときにも、笑顔を忘れないでほしい みんなの笑顔を

18 取手二中の合言葉 みんなの笑顔のために

みんなの笑顔のために、私や先生たちが何度もみんなに伝えてきたこと

考えて、考えて、考え抜く力

レジリエンス(折れない心)

をこれからも、みがいていきましょう

19 そして、取手二中に関わる全ての人を幸せにしていきましょう

20 みんなの笑顔のために

10年後、20年後、30年後に、自立した大人になっていること目指して

みんな笑顔あふれる学校を一緒に創っていきましょう！

これで私の第2学期の式辞を終わります。